

拝啓

貴職におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、東日本大震災の発災から六年と半年が、また、平成二十八年熊本地震の発災からは一年と五か月が、それぞれ経過しました。

これまで、皆様のお力添えにより、被災した地方公共団体に多くの職員を派遣いただいております。このことに対し、被災地の皆様から大きな感謝の声が寄せられています。

私からも、皆様の積極的なご支援に対しまして、心より敬意を表し、感謝申し上げます。

さらに、本年七月に発生した九州北部豪雨につきましても、全国の地方公共団体に対し、職員の派遣をお願いしたところです。

こうした度重なる大規模災害からの復旧・復興を進めるため、被災した地方公共団体では、人材確保に向けて種々努力を重ねているところですが、依然、様々な職種にわたって職員が不足する状況が続いております。

貴職におかれましては、被災した地方公共団体の窮状をご理解いただき、引き続き、職員の派遣につきまして、格別のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

先般、安倍総理からも「被災者の生活再建や生業の復興に内閣の総力を挙げて取り組む」よう指示があったところです。

私も先日、東日本大震災の被災地を視察させていただきました。今なお多くの方々が不自由な生活を余儀なくされる中、故郷を想い、一歩ずつ前に進むとうとする姿に感銘を受け、復興の加速化を進めなければならぬとの想いを強くいたしました。

総務省と致しましても、すべての被災地の皆様にとって我々が力強い仲間でありたいという想いを全職員が胸に抱き、復旧・復興支援に、とことん取り組んでいく所存でございます。

末筆ながら、貴職の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

敬具

平成二十九年九月二十九日

総務大臣

野田聖子

都道府県知事 殿（市区町村長 殿）